

(別添) 家庭用品に係る健康被害の年次とりまとめ報告の概要

従来、モニター病院の医師が家庭用品等による健康被害と考える事例や、公益財団法人 日本中毒情報センター(以下「JPIC」という。)が収集した家庭用品等による吸入事故等と考えられる事例について、それぞれ厚生労働省に報告されたものを取りまとめ、公表してきました。

令和元年度より、枠組みを変更し化学的健康被害症例対応システムとして運用を行っています。具体的には、消費者製品の個々の健康被害症例(事例)における化学物質の影響(関連)をよりの確に評価するため、必要に応じ有識者の意見を聴くなど、原因の究明や対策の検討に重点を置くこととし、誤飲等の主に使用者側の要因による事故情報は収集・集計、分析の対象とはしないものの、個々の事例の重大性に応じて注意喚起等の対応を適時行うこととしています。

本報告は、一般社団法人皮膚安全性症例情報ネット(以下「SSCI-Net」という。)及びJPICの協力を得て家庭用品による健康被害の情報を収集し、それらの情報をとりまとめているものです。「皮膚障害」及び「吸入事故等」の2分野に関する報告で構成されており、それぞれの概要を以下に示します。

1. 家庭用品に係る皮膚障害に関する報告の概要

○報告内容の概要を以下に示します。

- ・ 家庭用品による皮膚障害の報告全数は42件でした。
- ・ 報告件数で多かった家庭用品は上から順に、ネックレス(5件)、ピアス(5件)、ビューラー(5件)、イヤリング(4件)でした。
- ・ 性別は、女性が41例(97.6%)と大半を占めました。
- ・ 皮膚障害の種類は、「アレルギー性接触皮膚炎」36件(85.7%)と「刺激性接触皮膚炎」5件(11.9%)がほとんどを占めました。

○報告件数の詳細を以下に示します。(表1)

表1 2019年度・家庭用品による皮膚障害の報告全数

家庭用品	件数
ネックレス	5
ピアス	5
ビューラー	5
イヤリング	4
眼鏡	2
指輪	2
生理用品	2
腕時計	2
化粧用スポンジパフ	2
食器洗剤	1
洗濯洗剤	1
つけまつげ接着剤	1
ビニール手袋	1
二重瞼接着剤	1
ベルト	1

水着	1
下着	1
家庭用手袋（合成ゴム）	1
座卓（漆塗り）	1
紙ナプキン	1
線香	1
編み棒（金属製）	1
総数	42

2. 家庭用品に係る吸入事故等に関する報告の概要

○報告内容の概要を以下に示します。

- ・ 家庭用品による吸入事故等の報告全数は 180 件でした。
- ・ 報告件数で多かった家庭用品は上から順に、防水スプレー（66 件）、除菌剤（50 件）、洗淨剤（住宅用・家具用）（10 件）、殺虫剤（9 件）でした。
- ・ 性別は、女性が 132 例（73.3%）と大半を占めました。

○報告件数の詳細を以下に示します。（表 2）

表 2 2019 年度・家庭用品による吸入事故等の報告全数

家庭用品	件数
防水スプレー	66
除菌剤	50
洗淨剤(住宅用・家具用)	10
殺虫剤	9
防虫剤	6
防カビ剤	5
漂白剤	5
芳香・消臭・脱臭剤	4
シールはがし	3
忌避剤	2
接着剤	2
洗剤(洗濯用・台所用)	2
洗剤・洗淨剤(その他)	2
乾燥剤	1
ワックス	1
線香	1
塗料	1
その他の家庭用品	10
総数	180